

## 学会賞受賞者講演

### 「ありがとう」の気持ちを育み、表明すること —児童期における感謝研究の動向と研究報告—

藤原 健志（新潟県立大学）



#### 講演内容

この度は、「日本カウンセリング学会奨励賞」を受賞し、大変光栄に存じます。これまでご指導・ご支援いただいた多くの皆様へ、この場を借りて感謝申し上げます。

これまで私が取り組んできた研究テーマのうち、今回は児童期の感謝について、お話させていただきたいと思います。感謝の心理学的研究は2000年代より研究数が増加し、最近では子どもを対象とした研究も見られるようになりましたが、日本ではかねてより、学習指導要領において取り上げられており、学校教育の中で長く大切にされている概念です。教育にも「エビデンス」が求められる時代ですが、感謝の気持ち（を抱き、これを表明すること）をどのように育むのか、そして子どもたちにとってどのような点で有益であるのか、これまでの私共の取り組みをご紹介しつつ、近年報告が増加している実践研究の成果についても、時間の許す限りレビューさせていただきたいと思います。

#### プロフィール

筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻（3年制博士課程）修了、博士（心理学）・公認心理師・臨床心理士。筑波大学人間系（附属学校教育局）・特任助教、埼玉学園大学人間学部心理学科・特任講師等を経て、現在は新潟県立大学人間生活学部子ども学科・准教授。

#### 主要著書・論文

- ・渡辺弥生（監修） 藤枝静暁・藤原健志（編著）（2021）. 対人援助職のための発達心理学 北樹出版
- ・藤原健志・村上達也（2020）. 小学生における特性感謝と抑うつに関連 教育心理学研究, 68, 311-321.
- ・藤原健志・濱口佳和（2020）. 高校生における基本的社会的スキルと適応感の関連の短期縦断的検討 —新入生と上級生の比較— カウンセリング研究, 53, 12-25.
- ・藤原健志・濱口佳和（2015）. 高校生における聴くスキルと外在化問題・内在化問題の関連の検討 カウンセリング研究, 48, 228-240.
- ・藤原健志・村上達也・西村多久磨・濱口佳和・櫻井茂男（2014）. 小学生における対人的感謝尺度の作成 教育心理学研究, 62, 187-196.
- ・藤原健志・濱口佳和（2013）. 高校生用聴くスキル尺度改訂版の作成 心理学研究, 84, 47-56.
- ・藤原健志・濱口佳和（2011）. 高校生の聴くスキル尺度作成ならびに親和動機・学校生活満足感との関連の検討—聴くスキルと主張スキルの対人関係における役割とは？— カウンセリング研究, 44, 299-312.